

# ホラヒメグモ類

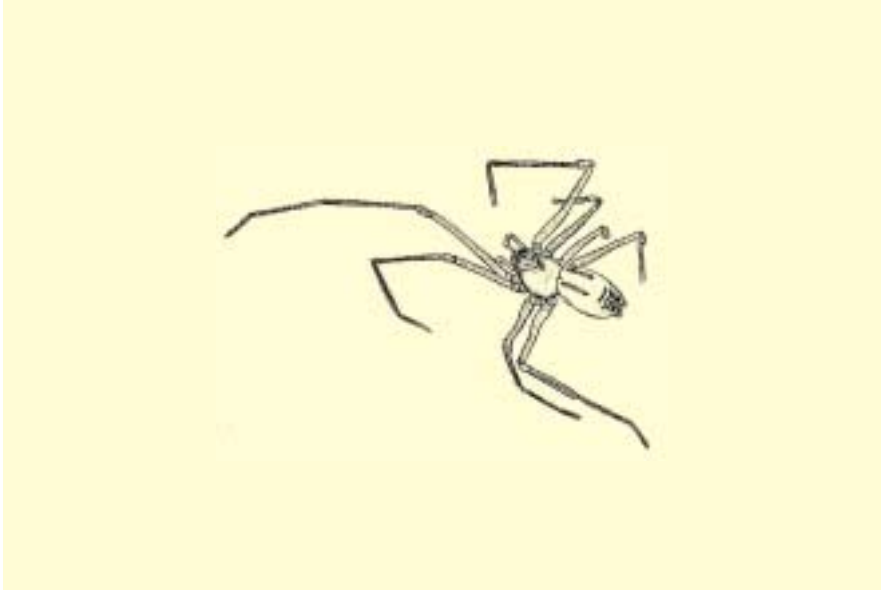
*Nesticus* spp.

ホラヒメグモ科

カテゴリー

大分県 地域個体群

環境庁 掲載なし



ホラヒメグモ類は名前のとおり、洞穴に生息していて、視力をほとんど失っている小型のクモ。暗い環境にだけ適応したホラヒメグモとなり、系統分類学上、進化と適応を学ぶことのできるクモ類である。県内では、風蓮洞、緒方九十九洞、竹田穴森の穴、佐伯狩生洞、津久見願寺の石灰岩の割れ目などに、それぞれ「独立種」が発見されている。近年、洞窟などが危険環境視されて埋められたり、掘削整地されたりして消滅するおそれの高い所が多く、洞窟類ごとの「群れ」を保全する必要性が強く望まれる。

(写真・文：菊屋奈良義)

**県内分布** 県下全域の洞窟・暗渠類・掘削壕跡・地下壕などの暗い環境

**分布域** ほぼ全国的に分布するが特に九州（大分）

ク  
モ  
類